

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学 術)	氏名 Author	LABAYO CZARINA CEBALLO
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目 Title of Dissertation Disaster, Resettlement and Vulnerability: A Case Study of Indigenous People in the Bicol Region of the Philippines			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	広島大学大学院国際協力研究科	教授 関 恒樹	印 Seal
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	教授 片柳 真理	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	准教授 山根 達郎	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	講師 中空 萌	
審査委員 Committee	広島大学大学院総合科学研究科	准教授 長坂 格	
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本論文は、災害と人々の脆弱性の関係を、フィリピン・ビコール地方の先住民コミュニティの事例から論じたものである。ビコール地方は頻繁な台風被害の他、国内有数の活火山であるマヨン山の度重なる噴火により、住民は多くの災害リスクを抱える。中でも脆弱な位置にあるのが、先住民アティの人びとであり、本論は火山噴火リスクに対処するための再定住政策が、そもそも地域社会の中で周辺化された存在である先住民にとり、さらなる脆弱性と文化的アイデンティティの喪失をもたらしたことを論じている。第1章序論においては、問題の所在、研究の目的が述べられた後、災害の人類学の先行研究が整理され、本論の分析概念である「テリトリー化」と「反テリトリー化」が説明される。第2章は、背景として、調査地アルバイ州サン・アンドレス地区の再定住地の状況と、先住民アティの社会組織などが概観される。第3章は、地方政府による再定住地住民への諸サービス提供の過程で、先住民アティと多数派ビコラーノの間の脆弱性の格差が維持、拡大する状況が検討される。第4章では、先住民アティの文化的アイデンティティの核として本論が注目する、薬草やマッサージを用いた伝統的医療に関する人々の知識が述べられる。第5章では、同じくアティの伝統的医療行為の実践者である治病師、マッサージ師、伝統的産婆などに注目しつつ、その諸実践が検討される。第6章では、再定住地におけるアティと多数派ビコラーノの相互行為の強化の過程で、アティの伝統的医療が政府の推進する生物医療との相互交渉の過程で、周辺化されていく状況が、いくつかの具体的事例に基づいて明らかにされる。第7章結論においては、アティの文化的アイデンティティ喪失と脆弱性の意味するものが、「テリトリー化」、「反テリトリー化」概念によって分析される。</p> <p>このような本論文は、現地調査による一次資料に基づきつつ、災害の人類学への一定の貢献が可能と評価され、審査委員一同の合意の下に合格とされた。また本論文の主要な議論は、査読付き論文 (Labayo, C. C., 2019 Living in Danger: Exploring the Culture of Disaster of the Ati Peoples in Bicol, Philippines, <i>Journal of International Development and Cooperation</i>, Vol.25(1&2):1-12.) として刊行済みであり、学位論文提出要件を満たしていることも確認した。</p>			